

令和7年度かながわ脱炭素推進会議事業報告及び収支決算

1 事業報告

(1) かながわ脱炭素共創プラットフォームによるプロジェクト

ア テーマ

- 次世代型太陽電池の需要創出・早期普及に向けた課題整理及び具体策等についての検討

イ 目的

- ケーススタディによるシミュレーション等を通じて、次世代型太陽電池を実装する際に生じる課題や必要な対策等を具体的に整理・検討し、設置場所の特長等に応じたモデルケースの創出に繋げる。
- ケーススタディに加えて、各プロジェクトメンバーにおいても、それぞれ主体的に早期普及・実装化に向けた取組を検討する。
例)
〔メーカー・施工企業〕シミュレーション結果を踏まえた対応策 等
〔金融機関〕ファイナンス、保険のあり方（実装を後押しする仕組み） 等
〔各企業〕自社施設を想定した具体的な設置可能性の検討 等
〔自治体〕補助・支援制度、公共施設への設置可能性、普及啓発に向けた取組の検討 等

ウ 取組内容

- 次世代型太陽電池の最新状況を共有（連携協定締結事業者等から説明）
- 具体的な施設を想定したケーススタディを実施
- 早期普及・実装化に向けた検討（各メンバーによる主体的な検討）
⇒ プロジェクトメンバーには、学識経験者、電池開発メーカー、設置希望の企業、銀行、自治体など関係する47者（オブザーバー参加含む）が参画した。

エ プロジェクト会議の概要

日程	内容
日時: 令和7年7月30日(水) 14時~16時 会場: オンライン	第1回プロジェクト会議 ・令和7年度事業計画の進め方 ・県連携協定先からの取組発表 等
日時: 令和7年11月6日(木) 10時~12時 会場: オンライン	第2回プロジェクト会議 ・プロジェクトメンバーからの取組発表 ・意見照会結果報告 等

日時: 令和8年1月27日(火) 10時~12時 会場: 対面 (FUN+TECH LABO) オンライン	第3回プロジェクト会議 ・ 報告書案説明及び意見交換 ・ 県実証場所の視察 等
日時: 令和8年3月27日(金) 15時~16時 会場: オンライン	第4回プロジェクト会議 ・ 報告書案説明及び意見交換

⇒ 別添「令和7（2025）年度かながわ次世代型太陽電池早期普及プロジェクト報告書」のとおり、活動結果の取りまとめを行った。

(2) かながわ脱炭素通信

- 脱炭素に係る県や市町村のイベントの開催案内や参加募集のほか、補助制度の周知、企業や団体の脱炭素に係る取組の紹介など、メールマガジンのような形式で月に一度、情報発信する取組を実施した（令和7年度集計結果参照）。
- 令和7年6月号から「かながわ脱炭素通信」と愛称を設定した。

《令和7年度集計結果》

令和7年度結果			令和6年度結果※	
発信者	発信者数 (昨年比)	発信件数 (昨年比)	発信者数	発信件数
推進会議参画団体	16(±0)	211(+74)	16	137
神奈川県	1(±0)	111(+66)	1	45
環境省	1(皆増)	2(皆増)	0	0
市町村	11(-2)	91(+17)	13	74
その他団体	3(+1)	7(-11)	2	18
プラットフォーム参画団体	0(皆減)	0(皆減)	1	3
合計	16	211	17	140

※ 令和6年度（令和6年7月～令和7年3月の集計結果）

2 収支決算

1 収入の部

(単位 円)

科 目	7年度予算額 (A)	7年度収入済額 (B)	増 減 (B-A)	備 考
負 担 金	980,000	980,000	0	県負担金
雑 収 入	5	1,885	1,880	預金利息
前年度繰越金	325,130	325,130	0	
計(a)	1,305,135	1,307,015	1,880	

2 支出の部

(単位 円)

科 目	7年度予算額 (A)	7年度支出済額 (B)	増 減 (A-B)	備 考
推進会議運営費	0	0	0	
運営委員会等開催	0	0	0	推進会議開催経費
かながわ脱炭素共創プラットフォーム事業費	1,000,000	1,051,655	△ 51,655	
プロジェクト運営費	1,000,000	1,051,655	△ 51,655	プロジェクト運営委託料等
予 備 費	255,135	0	255,135	
計(b)	1,255,135	1,051,655	203,480	

3 収支の部

(単位 円)

＜収入の部(a)＞	1,307,015	—	＜支出の部(b)＞	1,051,655	=	255,360
-----------	-----------	---	-----------	-----------	---	---------

差引き 255,360円は、次年度に繰り越します。